

新着案内  
2015年度版

# 町田の文学

2016年3月31日発行 第33号

町田ゆかりの作家や市民の皆さまがお書きになった文学作品のうち、2015年度（2015年4月から2016年2月末まで）に、購入や寄贈により町田市民文学館で受入れした主なものをご紹介します。これらの作品は、町田市立図書館の利用券を使って借りることができます。貸出中の場合は、リクエストサービスをご利用ください。また、市民の皆さまがお書きになった文学作品のご寄贈もお待ちしております。詳しくは、カウンター職員にお尋ねください。



## 詩歌

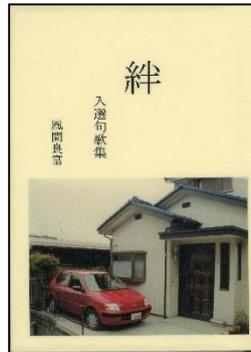
\*各紹介文は、一部を除き帯や解説等から適宜引用しました。



No. 1 1986年から94年までの句を収める待望の第1句集。「沖縄忌地層の噛みし石つぶて」



No. 2 著者13冊目の詩集。生死の本質凝視と平和・社会テーマの融合詩集



No. 3 雑誌・新聞等の入選句歌集。入選は3000回以上、句歌集もこれが3冊目



No. 4 既刊8冊の詩集のうち『一丁目一番地』の英訳版。原詩38篇も収録。タイトルは、著者が青春を過ごした世田谷区用賀に因む

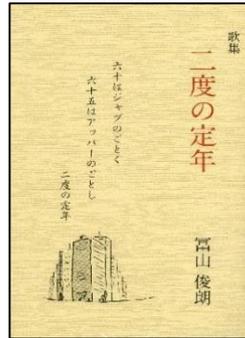
No	タイトル	編著者	出版社	出版年
1	句集 冬銀河 (新時代俳人双書)	市村栄理	本阿弥書店	2015. 3
2	わたしと世界	小田切敬子	コールサック社	2015. 8
3	絆	風間良富	風間良富	2015. 7
4	My Sweet Home 1—1	高橋しげを	創英社	2015. 2
5	心の杖	高橋しげを	創英社	2016. 2



# 詩歌



No. 6 赤ちゃんの誕生とそだちの日々を、三十一文字に託したメモ帳風短歌集



No. 8 会社や家族を詠んで、新聞各紙の短歌欄に掲載された237首を中心に、343首を収める初の短歌集。「六十はジャブのごとく六十五はアッパーのごとし二度の定年」



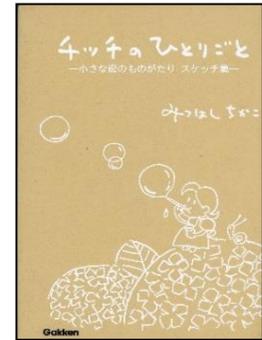
No. 9 既刊10詩集より精選。路上派の出発いらい半世紀の詩業を一望する



No. 10 短歌・連歌・俳句・連句・川柳・随筆を収める短詩形オールマイティの著者による個人誌第6号



No. 11 ふとした日々のなかに、人生が二重写しに見えてくる。その日、その時のやわらかな感触を、しなやかに詠みあげた第14歌集。著者は昨年5月に84歳で永眠



No. 12 小さな恋のものがたりスケッチ集。「えんぴつで思いきり好きなように描いてみました。その後のチッチなぞ一緒に遊んで下さい」(本文)

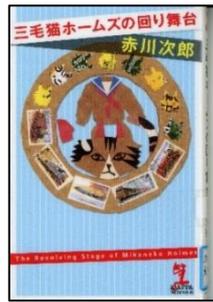
No	タイトル	編著者	出版社	出版年
6	そだちノート	俵 万智	アリス館	2014. 12
7	連句日和	俵万智ほか	自由国民社	2015. 9
8	歌集 二度の定年	富山俊朗	富山俊朗	2015. 2
9	中上哲夫詩集 (現代詩文庫)	中上哲夫	思潮社	2015. 6
10	しらべ VI	永田吉文	永田吉文	2015. 11
11	ゆめのあとさき (開耶叢書 第5篇)	榎 弥生子	角川学芸出版	2015. 3
12	チッチのひとりごと	みつはしちかこ	学研パブリッシング	2015. 7
13	讒謗律 (開耶叢書 第4篇)	森本 平	角川学芸出版	2015. 2
14	エスペラント語と絵で味わう八木重吉詩集	八木重吉	彩煌堂	2015. 9



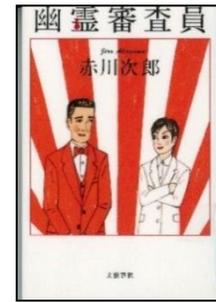
# 小説



No. 14 鼠小僧次郎吉の妹、小袖がもたらした報せは…。大人気人情時代劇の最新刊



No. 16 <劇団 Z>に忍び寄る黒い影、女子中学生の死。複雑に絡み合う因縁を、片山とホームズが暴き出す



No. 17 宇野警部が大晦日の紅白歌合戦の審査員に。秒刻みの進行の舞台裏で事件が…。幽霊シリーズ第 25 弾



No. 20 殺人のきっかけは、天涯孤独な女性のシンデレラストーリー!? 王道ユーモアミステリー



No. 25 抱腹絶倒のショートショート 35 編。雑誌「公評」に 1976 年から 79 年に連載



No. 26 1967 年、東京。バンドマンとゲストの女性歌手として出会った二人は…。書き下ろし小説

No	タイトル	編著者	出版社	出版年
14	鼠、滝に打たれる	赤川次郎	KADOKAWA	2014.12
15	四次元の花嫁 (Joy novels)	赤川次郎	実業之日本社	2014.12
16	三毛猫ホームズの回り舞台	赤川次郎	光文社	2015.5
17	幽霊審査員	赤川次郎	文藝春秋	2015.5
18	ハムレットは行方不明 (角川文庫)	赤川次郎	KADOKAWA	2015.7
19	泥棒教室は今日も満員 (Tokuma novels)	赤川次郎	徳間書店	2015.7
20	三姉妹、さびしい入江の歌 (講談社ノベルス)	赤川次郎	講談社	2015.7
21	女主人公(ヒロイン) (Futaba novels)	赤川次郎	双葉社	2015.8
22	東京零(ぜろ)年	赤川次郎	集英社	2015.8
23	演じられた花嫁 (Joy novels)	赤川次郎	実業之日本社	2015.12
24	セーラー服と機関銃 3 (角川文庫)	赤川次郎	KADOKAWA	2016.1
25	妄想科学小説	赤瀬川原平	河出書房新社	2015.1
26	たぶん、おそらく、きっとね (novella)	片岡義男	中央公論新社	2015.6
27	去年の夏、ぼくが学んだこと	片岡義男	東京書籍	2015.6



# 小説



No. 30 市内在住の著者による「リボンちゃん」「航海の旅人」「サングラス」など8篇の掌篇集



No. 31 とてつもない恐怖と、激しい焦りを覚える貫多を描く、最新私小説集



No. 34 雑誌『ダヴィンチ』から生まれた新しい小説の楽しみ方。小説×写真の世界



No. 35 古びた洋館に住む女4人の日常は、今日も豊かでかましい。ざんねんな女たちの、現代版『細雪』

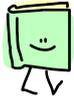


No. 37 戦後70年-激動の人生を歩んだ若者たちの姿を通して、戦争の非人間性と不条理を訴える渾身作

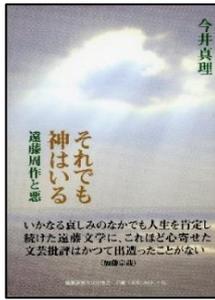


No. 41 表題作のほか、「オルゴール」「巨人の島」など6篇の物語を収める初の作品集

No	タイトル	編著者	出版社	出版年
28	この冬の私(わたし)はあの蜜柑だ	片岡義男	講談社	2015. 11
29	〈潜入〉医師狩りの村 (宝島社文庫)	小林深亜	宝島社	2015. 2
30	この冬の行方	竹田 励	私家版	2015. 2
31	痴者の食卓	西村賢太	新潮社	2015. 7
32	無銭横町	西村賢太	文藝春秋	2015. 2
33	我が心の底の光	貫井徳郎	双葉社	2015. 1
34	女が死んでいる	貫井徳郎	KADOKAWA	2015. 3
35	あの家に暮らす四人の女	三浦しをん	中央公論新社	2015. 7
36	透明カメレオン	道尾秀介	KADOKAWA	2015. 1
37	戦場の聖歌 (カンタータ)	森村誠一	光文社	2015. 5
38	悪道 五右衛門の復讐	森村誠一	講談社	2015. 9
39	運命の花びら 上	森村誠一	KADOKAWA	2015. 1
40	運命の花びら 下	森村誠一	KADOKAWA	2015. 1
41	サバンの真実	山本ひとみ	文芸社	2015. 1



# 随筆・評論ほか



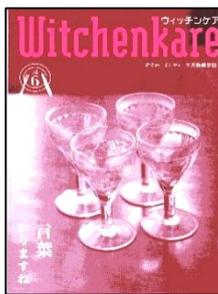
No. 44 『海と毒薬』『沈黙』『薔薇の館』などを通して、遠藤文学の根幹たる「悪」の問題を正面から論ずる初の評論集



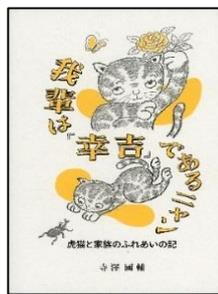
No. 45 老いてますます絶好調！好奇心あふれる達人の生き方、37篇



No. 47 白洲正子と歌人・前登志夫の対話、それぞれについてのエッセイを収める。



No. 48 町田に拠点を置くインディーズ文芸創作誌の第6号。毎号、新進気鋭の書き手による創作・随筆等を掲載



No. 49 いつも山吹家の中心にいた虎猫「幸吉」と家族のふれあいを描いた猫好き必読の一冊



No. 52 仕事や家庭に尽くした日々は終わった。これからが自分のための純金人生だ。老いて人は、失う代わりにとおいなるものを得る！

No	タイトル	編著者	出版社	出版年
42	赤瀬川原平世の中は偶然に満ちている	赤瀬川原平	筑摩書房	2015. 1
43	少年時代	安野光雅	山川出版社	2015. 4
44	それでも神はいる	今井真理	慶應大学出版会	2015. 8
45	人生、ぐうたらに徹すべし	遠藤周作	河出書房新社	2015. 3
46	明日という日があるじゃないか	遠藤周作	河出書房新社	2015. 9
47	魂の居場所を求めて	白洲正子/前登志夫	河出書房新社	2014. 12
48	ウィッチンケア vol. 6	多田洋一	Yoichijerry	2015. 4
49	我輩は「幸吉」であるニャン	寺澤國輔	寺澤國輔	2014. 12
50	東京者がたり	西村賢太	講談社	2015. 1
51	遠い昨日、近い昔	森村誠一	バジリコ	2015. 12
52	老いの希望論 (徳間文庫)	森村誠一	徳間書店	2015. 1



# 子どもの本



No. 60 「ぱぴぷべぽーず、はじめよう！」0歳からのふれあい絵本



No. 64 ここはカボチャはかせがつくったこわーいこわーいおばけやしき。どれくらいこわいか、その目でたしかめてみよう！



No. 61 がっこうにやってきたヤギのラッキーとハッピー。小さいのちのたんじょうをみまもった子どもたち



No. 62 市民による童話創作の会「魔法のえんぴつ」5冊目の作品集。8篇を収める

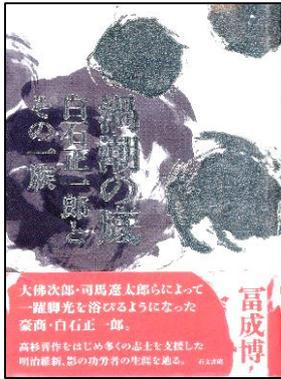


No. 65 いつもはつめたいうみにすんでいるイッカクくん。ねこざかながいるあたたかいうみにあられますが…

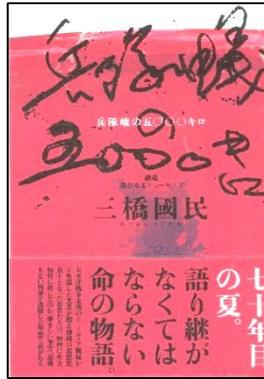
No	タイトル	編著者	出版社	出版年
53	おつきさまのかぞえうた	新井洋行	えほんの社	2015. 8
54	おばけとホットケーキ	新井洋行	くもん出版	2015. 2
55	うんちでるかな？ (講談社幼児えほん)	新井洋行	講談社	2015. 2
56	おばけとたからさがし	新井洋行	くもん出版	2015. 6
57	びっくりこたつ (講談社幼児えほん)	新井洋行	講談社	2014. 11
58	よるのつみきだいさくせん (傑作絵本)	新井洋行	金の星社	2015. 7
59	わるものにさらわれたおひめさまをたすけだそう！	新井洋行	PHP研究所	2015. 7
60	ぱぴぷべぽーず	新井洋行	文溪堂	2015. 9
61	子ヤギがうまれたよ！	長谷川知子	新日本出版社	2015. 1
62	創作童話集 魔法のえんぴつ 5	童話創作の会	童話創作の会	2015. 11
63	キャベたまたんていちんぼつ船のひみつ	三田村信行	金の星社	2015. 7
64	キャベたまたんていきょうふのおばけやしき	三田村信行	金の星社	2014. 11
65	ねこざかなとイッカクくん	わたなべゆういち	フレーベル館	2014. 12



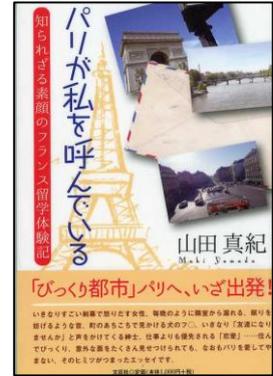
# その他



No. 69 高杉晋作をはじめ多くの志士を支援した明治維新の影の功労者、豪商・白石正一郎の生涯を辿る



No. 72 太平洋戦争末期のニューギニア戦線から生還した著者が綴る鎮魂の追想記。兵士となった若者たちは、如何に生き、如何に死したのか



No. 74 住んでびっくり、意外な面をたくさん見せ付けられても、なおもパリを愛してやまない、そのヒミツがつまったエッセイ

No	タイトル	編著者	出版社	出版年
66	オブジェを持った無産者	赤瀬川原平	河出書房新社	2015. 1
67	赤瀬川原平漫画大全	赤瀬川原平	河出書房新社	2015. 1
68	歌謡曲が聴こえる（新潮新書）	片岡義男	新潮社	2014. 11
69	渦潮の底	富成博	右文書院	2015. 6
70	白洲家の晩ごはん（とんぼの本）	牧山桂子	新潮社	2015. 9
71	三橋國民 小伝	三橋國民	三橋國民	2015. 7
72	兵隊蟻の五〇〇〇キロ	三橋國民	NHK出版	2015. 7
73	靖国の子	山中恒	大月書店	2014. 12
74	パリが私を呼んでいる	山田真紀	文芸社	2015. 1



# 主な定期寄贈雑誌

- 文芸誌：「相模文芸」「文芸多摩」「ベルク（山の文芸）」
- 詩誌：「詩と思想」「騒」「璞（あらたま）」
- 短歌詩：「青垣」「歌と観照」「かがりび」「開耶」「日本歌人クラブ 風」「玉ゆら」「はなさい」
- 俳句誌：「青芝」「阿夫利嶺」「苺」「山曆」「蒼茫」「都市」「波」「梅林」「風土」「八千草」「屋根」

## トピックス

## 第 64 回 読売文学賞受賞！

江戸期の数多くの俳諧書から、有名無名の女性たちが詠んだ 900 余りの句を、春夏秋冬の季語ごとに配列・収録。エピソードや解説と共に、数百年前の女性たちの胸のうちがいまに蘇える。

「17 世紀末から 19 世紀前半にかけて諸国における女性俳諧師は驚くほど多数いて、選集も 100 冊近くあるのだ。宮廷や大名などの支配階級ではなく一般庶民の女たちが、その時代に多数創作に打ちこみ出版物を発行する文化は、世界のどの国にも類をみないものであろう。(中略) 3 百年前、2 百年前の市井の女たちが、創るよろこび、それが版木に刻まれて世に出るよろこびを初々しく享受したことを、多くの人々に知って貰いたいと本書を思い立ったのであった。」(「まえがき」)

新聞・書評各紙で絶賛！小林一茶らと交遊のあった町田の女流俳人・五十嵐浜藻の句も多数掲載。



タイトル	編著者	出版社	出版年
江戸おんな歳時記	別所真紀子	幻戯書房	2015.9

## ■文学館春の展覧会のご案内■

### 開館 10 周年記念

いま

## 「この街の現在—ゼロ年代の町田若手作家たち—」展

会 期：2016 年 4 月 16 日 (土) ～6 月 26 日 (日)

観覧時間：10 時～17 時

休 館 日：月曜日、第 2 木曜日

観 覧 料：無 料